

○三重大学大学院工学研究科規程

(平成 16 年 4 月 1 日規程第 480 号)

改正	平成 17 年 2 月 14 日規程	平成 18 年 3 月 27 日規程
	平成 19 年 3 月 30 日規程	平成 19 年 9 月 12 日規程
	平成 20 年 3 月 31 日規程	平成 21 年 4 月 1 日規程
	平成 22 年 2 月 3 日規程	平成 22 年 3 月 31 日規程
	平成 23 年 3 月 22 日規程	平成 24 年 3 月 30 日規程
	平成 25 年 3 月 29 日規程	平成 26 年 3 月 27 日規程第 480 号
	平成 27 年 3 月 31 日規程第 480 号	平成 28 年 3 月 30 日規程第 480 号
	平成 29 年 3 月 31 日規程第 480 号	平成 30 年 3 月 30 日規程第 480 号
	平成 31 年 3 月 29 日規程第 480 号	令和 2 年 3 月 31 日規程第 480 号
	令和 3 年 3 月 31 日規程第 480 号	

(趣旨)

第 1 条 三重大学大学院工学研究科(以下「研究科」という。)に関する事項は、三重大学大学院学則及び三重大学学位規則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(研究科の目的)

第 1 条の 2 研究科は、基礎的研究とともに、学際的又は新しい分野の開拓を目指した高度な工学研究を行い、その成果を広く開放して、地域や社会の発展と福祉に貢献すること、また、深い専門知識を蓄え、高く設定された目標を達成する能力を養い、地域的・国際的な課題に工学の立場から貢献できる創造力豊かな研究者及び専門的な技術者を養成することを目的とする。

(博士前期課程の目的)

第 1 条の 3 博士前期課程は、学際的・独創的・総合的視野を基盤にした専門的な工学の研究を通して、高度な専門技術者及び研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とし、専攻ごとの目的については、次項から第 7 項までに定めるところによる。

2 機械工学専攻は、社会の要請に即した機械システム、材料加工、環境・エネルギー分野における高度な学術研究を行うとともに、研究を通して創造性が豊かで社会性の高い技術者を育成し、人間・環境・機械の調和的発展に貢献することを目的とする。

3 電気電子工学専攻は、電気電子工学の基礎と応用に関する教育研究を通して、多面的理解力・倫理的判断力・知的創造力を備えた高度専門技術者及び研究者を育成し、自然の中での、人類の共生、福祉の増進及び地域・社会の発展に貢献することを目的とする。

4 分子素材工学専攻は、国際的基準での高度先進的な化学教育・研究を通して、問題把握力を有し、人と自然のかかわりについての倫理的判断を備え、多種多様な物質の分子又はナノレベルの「創成」及び「分解」に特化した分野における高度

技術者及び研究者を養成するとともに、地域及び世界に向けて社会貢献に資することを目的とする。

- 5 建築学専攻は、地域から地球規模に至る環境及び社会のニーズを踏まえた総合的見地から、建築・都市の専門分野における高度な学術研究を行うとともに、創造力豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を行い、学問・文化の発展と地域・社会に貢献することを目的とする。
- 6 情報工学専攻は、多様な変革に対応できる学際的研究と新しい分野の開拓を目指した高度な研究を行い、また、深い専門知識と能力を備え、国際的な課題の解決に貢献する研究者及び専門的な技術者を養成し、地域や社会に貢献することを目的とする。
- 7 物理工学専攻は、工学の基礎としての物理学と機械工学・電気電子工学を融合させた教育研究を行うことにより、高度の専門性を持ちながら幅広く活躍することができる高度専門技術者及び研究者を育成し、既存の壁を打ち破る革新的な科学技術の創造と発展に貢献することを目的とする。

(博士後期課程の目的)

第1条の4 博士後期課程は、学際的・独創的・総合的視野を基盤にした高度かつ専門的な工学の研究を通して、社会において指導的役割を果たせる研究者及び極めて高度な技術者を養成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とし、専攻ごとの目的については、次項及び第3項に定めるところによる。

2 材料科学専攻は、現在の最先端科学技術の一層の飛躍と環境保全などの見地から、先進物質・先進材料、ナノサイエンス・ナノテクノロジー、ライフサイエンスなど学際的な研究を通して、新材料の創造・加工・評価・応用に関する基礎学力と幅広い応用能力を兼ね備え、かつ、創造性豊かで先端技術に対応できる先導的能力を持った研究者及び極めて高度な技術者を育成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

3 システム工学専攻は、地球環境・エネルギー、社会基盤構築、情報処理・通信、ロボティクス・メカトロニクスなどの研究領域に関連するシステム工学技術の探求を通して、システム工学技術に対する学際的で豊かな学識と独創的な能力を兼ね備え、かつ、先導的役割を果たせる研究者及び極めて高度な技術者を育成し、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

(5年一貫コースの目的)

第1条の5 博士課程に5年一貫コースを置き、一貫教育の特徴である効率の良い勉学・研究を進めることにより、世界をリードし活躍できる高度専門職業人を養成し、博士課程修了後の多彩なキャリアパスの可能性を提供して地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とする。

2 5年一貫コースについては、別に定める。

(入学者の選考)

第2条 博士前期課程及び博士後期課程の入学者の選考は、学力試験、健康診断及び成績証明書等を総合して行う。

2 前項の選考方法、時期等については、研究科教授会が定める。

(指導大学教員)

第3条 研究科の教育、研究及び論文の指導のため、指導大学教員を置く。

2 指導大学教員は、研究科担当の教授をもって充てる。ただし、必要があるときは、准教授をもって充てることができる。

(授業科目及び単位数)

第4条 研究科における各専攻の授業科目及び単位数は、博士前期課程は、別表第1、博士後期課程は、別表第2のとおりとする。

(履修方法)

第5条 学生は、指導大学教員の指導のもとに、博士前期課程においては、別表第3及び別表第4に定める修了要件により、30単位以上を、博士後期課程においては、別表第5に定める修了要件により、10単位以上を、5年一貫コースにおいては、別表第7に定める修了要件により、40単位以上を修得しなければならない。

2 学生の履修に関する特例は、別に定める。

(履修科目の届出)

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を、所定の期日までに、研究科長に届出なければならない。

(単位の認定)

第7条 各授業科目の単位の認定は、試験又は研究報告により、授業科目担当大学教員が行う。

(試験)

第8条 試験は、口答又は筆答とし、授業科目の終了する学期末に行う。ただし、授業科目によっては、適当な時期に行うことがある。

(追試験)

第9条 学生が、疾病その他やむを得ない理由により、正規の試験を受けることができなかった場合は、願い出により、追試験を行うことがある。

(成績)

第10条 履修した授業科目の成績は、AA・A・B・C・Dの評語で表し、AA・A・B・Cを合格とする。

(学位論文提出資格)

第11条 博士前期課程の学生で、中間論文発表(2年次の9月実施、10月入学者は2年次の2月実施)を行い、かつ、別表第3及び別表第4に定める授業科目30単位以上を修得又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

2 博士後期課程の学生で、別表第5に定める授業科目10単位以上を修得又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

3 5年一貫コースの学生で、別表第7に定める授業科目40単位以上を修得又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

4 前項の規定にかかわらず、三重大学大学院学則第 45 条の規定により、学位授与を申請する者は、学位論文を提出することができる。

5 前項の申請者の資格その他については、別に定める。

(最終試験)

第 12 条 博士前期課程及び博士後期課程の最終試験は、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、所定の学位論文を提出した者について行う。

2 博士前期課程の論文審査は、提出された学位論文と研究領域ごとに実施する最終論文発表会(2 年次の 2 月実施、10 月入学者は 2 年次の 8 月実施)に基づいて行う。提出された論文と最終論文発表結果に基づき、研究科教授会で選任された審査委員会による合否判定を行い、その結果を専攻にて取りまとめ確認後に研究科教授会で議決し、研究科長はその結果を学長に報告する。

(再入学及び転入学)

第 13 条 三重大学大学院学則第 22 条の規定により、再入学又は転入学を志願する者の選考は、研究科教授会で行う。

2 前項の選考方法は、研究科教授会で定める。

(特別の課程)

第 14 条 三重大学大学院学則第 23 条の 2 の規定に基づき、研究科に特別の課程を置く。

2 特別の課程の授業科目及び時間数は、別表第 6 のとおりとする。

3 学生が前項に規定する特別の課程の授業科目を履修することが教育上有益であると認めるときは、当該授業科目を履修させることができる。

(雑則)

第 15 条 この規程に定めるもののほか、研究科に関し必要な事項は、研究科教授会が定める。

附 則

1 この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 15 年度以前の入学者は、第 4 条の規定については、なお従前の例による。

附 則(平成 17 年 2 月 14 日規程)

1 この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 16 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 18 年 3 月 27 日規程)

1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 17 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 19 年 3 月 30 日規程)

- 1 この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 18 年度以前の入学者については、改正後の規程第 5 条第 1 項、第 10 条、第 11 条第 1 項、同条第 2 項、第 12 条第 2 項、別表第 1、別表第 2、別表第 3、別表第 4 及び別表第 5 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 19 年 9 月 12 日規程)

この規程は、平成 19 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 3 月 31 日規程)

- 1 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 19 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1、別表第 2、別表第 3 及び別表第 4 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 21 年 4 月 1 日規程)

- 1 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 20 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 22 年 2 月 3 日規程)

- 1 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 21 年度以前の入学者については、改正後の規程第 14 条及び別表第 6 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 22 年 3 月 31 日規程)

- 1 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 21 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1、別表第 3 及び別表第 4 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 23 年 3 月 22 日規程)

- 1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年度以前の入学者については、改正後の別表第 1、別表第 2、別表第 3 及び別表第 4 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 24 年 3 月 30 日規程)

- 1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 23 年度以前の入学者については、改正後の別表第 1、別表第 2、別表第 3 及び別表第 4 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 25 年 3 月 29 日規程)

- 1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 平成 24 年度以前の入学者については、改正後の別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年 3 月 27 日規程第 480 号)

- 1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 25 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 6 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 27 年 3 月 31 日規程第 480 号)

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 28 年 3 月 30 日規程第 480 号)

- 1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 27 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 6 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 3 月 31 日規程第 480 号)

- 1 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 30 年 3 月 30 日規程第 480 号)

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 31 年 3 月 29 日規程第 480 号)

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 2 年 3 月 31 日規程第 480 号)

- 1 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1、別表第 2、別表第 3、別表第 4 及び別表第 7 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 3 年 3 月 31 日規程第 480 号)

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1、別表第 2、別表第 3 及び別表第 7 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1(第4条関係)

博士前期課程授業科目及び単位数

専 攻	講 座	授業科目	単位数	備 考
機械工学専攻	量子・電子機械講座	固体物理学特論	2	
		固体物理学演習	1	
		量子応用特論	2	
		システム制御工学特論	2	
		システム制御工学演習Ⅰ	1	
		システム制御工学演習Ⅱ	1	
		ロボット工学特論	2	
		ロボット工学演習Ⅰ	1	
		ロボット工学演習Ⅱ	1	
		機械力学特論	2	
		機械制御工学特論	2	
		機力・制御演習Ⅰ	1	
		機力・制御演習Ⅱ	1	
		固体力学特論	2	
		固体力学演習	1	
		バイオメカニクス特論	1	
		生体材料工学特論	2	
		生体材料工学演習	1	
		連続体力学特論	1	
		機械知能学特論	2	
		小 計	29	
	機能加工講座	材料機能学特論	1	
		接合プロセス設計学特論	1	
		接合プロセス設計学演習	1	
		難削材加工特論	1	
		高機能加工技術演習	1	
		NC 加工法実習	1	
		ナノテクノロジー特論	2	
		ナノテクノロジー演習	1	
		小 計	9	
	環境エネルギー講座	流体工学特論	2	
		流体工学演習	2	
		エネルギー環境機械特論	2	

		エネルギー環境機械演習	2	
		熱工学特論	2	
		熱工学演習	2	
		熱エネルギーシステム特論	2	
		熱エネルギーシステム演習	2	
		流動現象学特論	2	
		流動現象学演習	2	
		環境流体熱工学特論	2	
		環境流体熱工学演習	2	
		小 計	24	
	特別研究	機械工学特別研究Ⅰ	2	
		機械工学特別研究Ⅱ	2	
		機械工学特別研究Ⅲ	2	
		機械工学特別研究Ⅳ	2	
		小 計	8	
	専攻指定科目	機械工学特別演習	2	
		小 計	2	
	計		72	
電気電子工学 専攻	電気システム工学講座	電機制御特論Ⅰ	2	
		電機制御演習Ⅰ	2	
		電機制御特論Ⅱ	2	
		電機制御演習Ⅱ	2	
		制御工学特論Ⅰ	2	
		制御工学演習Ⅰ	2	
		制御工学特論Ⅱ	2	
		制御工学演習Ⅱ	2	
		電気エネルギーシステム特論	2	
		電気エネルギーシステム演習	2	
		小 計	20	
	情報・通信システム工 学講座	情報処理特論	2	
		情報処理演習Ⅰ	2	
		情報処理演習Ⅱ	2	
		通信システム特論Ⅰ	2	
		通信システム演習Ⅰ	2	
		通信システム特論Ⅱ	2	
		通信システム演習Ⅱ	2	
		システム工学応用特論Ⅰ	2	

		システム工学応用特論Ⅱ	2	
		計算機工学特論Ⅰ	2	
		計算機工学特論Ⅱ	2	
		計算機工学演習Ⅰ	2	
		計算機工学演習Ⅱ	2	
		小 計	26	
	電子物性工学講座	オプトエレクトロニクス特論	2	
		オプトエレクトロニクス演習	2	
		半導体工学特論	2	
		半導体工学演習	2	
		高周波フォトンクス特論	2	
		高周波フォトンクス演習	2	
		薄膜工学特論	2	
		薄膜工学演習	2	
		固体物性工学特論	2	
		固体物性工学演習	2	
		有機エレクトロニクス特論	2	
		有機エレクトロニクス演習	2	
		電子エレクトロニクス特論	2	
		電子エレクトロニクス演習	2	
		電子デバイスプロセス設計特論	2	
		電子デバイスプロセス設計演習	2	
		小 計	32	
	特別研究	電気電子工学特別研究Ⅰ	2	
		電気電子工学特別研究Ⅱ	2	
		電気電子工学特別研究Ⅲ	2	
		電気電子工学特別研究Ⅳ	2	
		小 計	8	
	専攻指定科目	システム工学 PBL 特論	2	
		材料工学 PBL 特論	2	
		電気電子工学特別講義 AⅠ	1	
		電気電子工学特別講義 AⅡ	1	
		小 計	6	
	計		92	
分子素材工学 専攻	分子設計化学講座	高分子設計化学特論	2	
		高分子設計化学演習Ⅰ	2	
		高分子設計化学演習Ⅱ	2	

		高重合化学特論	2	
		高重合化学演習 I	2	
		高重合化学演習 II	2	
		精密反応化学特論	2	
		精密反応化学演習 I	2	
		精密反応化学演習 II	2	
		精密合成化学特論	2	
		精密合成化学演習 I	2	
		精密合成化学演習 II	2	
		有機機能化学特論	2	
		有機機能化学演習 I	2	
		有機機能化学演習 II	2	
		有機物性化学特論	2	
		有機物性化学演習 I	2	
		有機物性化学演習 II	2	
		理論化学特論	2	
		理論化学演習 I	2	
		理論化学演習 II	2	
		計算化学特論	2	
		計算化学演習 I	2	
		計算化学演習 II	2	
		小 計	48	
	生物機能工学講座	無機反応化学特論	2	
		無機反応化学演習	2	
		エネルギー変換化学演習	2	
		固体化学特論	2	
		固体化学演習	2	
		センサー化学演習	2	
		材料物理化学特論	2	
		材料物理化学演習 I	2	
		材料物理化学演習 II	2	
		量子化学特論	2	
		量子化学演習 I	2	
		量子化学演習 II	2	
		環境化学演習	2	
		計測化学演習	2	
		分析化学特論	2	

		分析化学演習	2	
		分離化学演習	2	
		生物機能化学特論	2	
		生物機能化学演習Ⅰ	2	
		生物機能化学演習Ⅱ	2	
		生物学特論	2	
		生物学演習Ⅰ	2	
		生物学演習Ⅱ	2	
		小 計	46	
	素材化学講座	材料物性化学特論	2	
		材料物性化学演習Ⅰ	2	
		材料物性化学演習Ⅱ	2	
		界面物性化学特論	2	
		界面物性化学演習Ⅰ	2	
		界面物性化学演習Ⅱ	2	
		素材化学特論	2	
		素材合成化学演習	2	
		機能性材料化学特論	2	
		機能性材料化学演習Ⅰ	2	
		機能性材料化学演習Ⅱ	2	
		複合材料化学演習	2	
		生体材料化学特論	2	
		生体材料化学演習Ⅰ	2	
		生体材料化学演習Ⅱ	2	
		組織工学材料特論	2	
		組織工学材料演習Ⅰ	2	
		組織工学材料演習Ⅱ	2	
		小 計	36	
	特別研究	分子素材工学特別研究Ⅰ	2	
		分子素材工学特別研究Ⅱ	2	
		分子素材工学特別研究Ⅲ	2	
		分子素材工学特別研究Ⅳ	2	
		小 計	8	
	専攻指定科目	分子素材工学特論	1	
		分子素材工学特別講義Ⅰ	1	
		分子素材工学特別講義Ⅱ	1	
		分子素材工学特別講義Ⅲ	1	

		分子素材工学特別講義Ⅳ	1	
		小 計	5	
		計	143	
建築学専攻	建築学講座	建築計画学特論	2	
		建築都市設計計画演習Ⅰ	3	
		建築都市設計計画演習Ⅲ	2	
		都市計画学特論	2	
		熱環境解析学特論	2	
		熱環境解析学演習	2	
		都市環境学特論	2	
		都市環境学演習	2	
		建築都市設計計画演習Ⅱ	3	
		建築意匠特論	2	
		建築史特論	2	
		ファシリティマネジメント特論	2	
		室内環境制御学特論	2	
		建築エネルギー計画特論	2	
		建築エネルギー計画演習	2	
		建築構造解析学特論	2	
		建築構造解析学演習	1	
		建築構造工学特論	2	
		建築構造工学演習	1	
		建築構造材料工学特論	2	
		建築構造材料工学演習	2	
		木質構造・構法特論	2	
		木質構造・構法演習	1	
		小 計	45	
	特別研究	建築学特別研究Ⅰ	2	
		建築学特別研究Ⅱ	2	
		建築学特別研究Ⅲ	2	
		建築学特別研究Ⅳ	2	
		小 計	8	
	専攻指定科目	建築都市人間工学特論	2	
		建築環境計測技術特論	2	
		建築構造計画学特論	2	
		建築インターンシップⅠ	4	
		建築インターンシップⅡ	2	

情報工学専攻		建築インターンシップⅢ a	2	
		建築インターンシップⅢ b	2	
		建築インターンシップⅣ a	2	
		建築インターンシップⅣ b	2	
		小 計	20	
	計		73	
	コンピュータサイエンス講座	計算機言語演習Ⅰ	1	
		計算機言語演習Ⅱ	1	
		計算モデル特論	2	
		計算モデル演習Ⅰ	1	
		計算モデル演習Ⅱ	1	
		コンピュータ・アーキテクチャ演習Ⅰ	1	
		コンピュータ・アーキテクチャ演習Ⅱ	1	
		並列ソフトウェア特論	2	
		並列ソフトウェア演習Ⅰ	1	
		並列ソフトウェア演習Ⅱ	1	
		計算機ネットワーク演習Ⅰ	1	
		計算機ネットワーク演習Ⅱ	1	
	知能工学講座	マルチメディア処理特論	2	
		マルチメディア処理演習Ⅰ	1	
		マルチメディア処理演習Ⅱ	1	
		小 計	18	
		パターン情報処理演習Ⅰ	1	
		パターン情報処理演習Ⅱ	1	
		通信信号処理特論	2	
		通信信号処理演習Ⅰ	1	
		通信信号処理演習Ⅱ	1	
		知能システム演習Ⅰ	1	
		知能システム演習Ⅱ	1	
		言語工学特論	2	
		言語工学演習Ⅰ	1	
		言語工学演習Ⅱ	1	
		パターン認識特論	2	
		パターン認識演習Ⅰ	1	
		パターン認識演習Ⅱ	1	

		ヒューマン・インタフェース演習Ⅰ	1	
		ヒューマン・インタフェース演習Ⅱ	1	
		小 計	18	
	講座共通	情報工学特別講義 AⅠ	2	
		情報工学特別講義 AⅡ	2	
		小 計	4	
	特別研究	情報工学特別研究Ⅰ	2	
		情報工学特別研究Ⅱ	2	
		情報工学特別研究Ⅲ	2	
		情報工学特別研究Ⅳ	2	
		小 計	8	
	専攻指定科目	ソフトウェア基礎論特論	2	
		コンピュータ・アーキテクチャ特論	2	
		計算機ネットワーク特論	2	
		パターン情報処理特論	2	
		知能システム特論	2	
		ヒューマンインタフェース特論	2	
		情報工学特別演習Ⅰ	1	
		実践ソフトウェア開発プロジェクト演習	2	
		小 計	15	
	計		63	
物理工学専攻	量子工学講座	量子物理学特論Ⅰ	2	
		量子物理学特論Ⅰ演習	2	
		量子物理学特論Ⅱ	2	
		量子物理学特論Ⅱ演習	2	
		多体系物理学特論	2	
		多体系物理学演習	2	
		凝縮系物理学特論	2	
		凝縮系物理学演習	2	
		物性物理学特論	2	
		物性物理学演習	2	
		小 計	20	
	ナノ工学講座	物質情報学特論	2	
		物質情報学特論演習	2	

		ナノ材料設計特論	2	
		ナノ材料設計演習	2	
		信号計測システム特論	2	
		信号計測システム演習	2	
		磁性体物理特論	2	
		磁性体物理演習	2	
		磁気記録工学特論	2	
		トライボロジー特論	2	
		トライボロジー演習	2	
		機能加工特論	2	
		機能加工演習	2	
		小 計	26	
	特別研究	物理工学特別研究Ⅰ	2	
		物理工学特別研究Ⅱ	2	
		物理工学特別研究Ⅲ	2	
		物理工学特別研究Ⅳ	2	
		小 計	8	
	専攻指定科目	物理工学特論	2	
		物理工学特別講義 AⅠ	1	
		物理工学特別講義 AⅡ	1	
		小 計	4	
	計		58	
研究科共通科目		先端技術特論Ⅰ	1	
		先端技術特論Ⅱ	1	
		知的財産権出願特論	1	
		ISO 学特論	1	
		工学展望特論(社会人向け)	2	
		ベンチャービジネス特論	1	
		論文発表演習	1	
		企画力養成演習	1	
		国内インターンシップ	2	
		長期インターンシップ	3	
		小 計	14	
国際教育科目		実践英語Ⅰ	1	
		実践英語Ⅱ	1	
		国際会議発表演習	1	
		学術英語論文発表	1	

	国際インターンシップ	3	
	短期留学	3	
	小 計	10	
創成工学教育科目	生産管理特論Ⅰ	2	
	生産管理特論Ⅱ	2	
	実践管理工学特論	2	
	実践企業学	1	
	造船工学特論	2	
	先輩から学ぶ先端科学技術	2	
	機械創成工学特論 A	1	
	機械創成工学特論 B	1	
	機械設計製作法特論及び演習・実習	4	
	高品質組込みシステム特論	2	
	高性能電機制御システム設計特論	2	
	環境創成科学特論	2	
	材料創成工学特論	2	
	建築学特別制作	1	
	建築学特別調査	1	
	情報創成工学特論	2	
	小 計	29	

別表第 2(第 4 条関係)

博士後期課程授業科目及び単位数

専攻の名称	講座名	授業科目	単位数	備考
材料科学専攻	材料物性講座	極限物性特論	2	
		量子応用工学特論	2	
		量子物質情報学特論	2	
		量子物質情報学演習	2	
		バイオメカニクス特論	2	
		バイオメカニクス演習	2	
		連続体力学演習	2	
		先進加工技術演習	2	
		ナノ加工プロセス特論	2	
		極限加工演習	2	

		超高圧工学演習	2	
		材料環境学特論	2	
		先端生産技術演習	2	
		物性評価学特論	2	
		物質構造解析学特論	2	
		物質構造解析学演習	2	
		統計物理学特論	2	
		統計物理学演習	2	
		量子物性学特論	2	
		情報理論特論	2	
		場の量子論演習	2	
		電子材料工学特論	2	
		電子材料工学演習	2	
		薄膜材料特論	2	
		電子デバイス工学特論	2	
		電子デバイス工学演習	2	
		光・電子材料工学特論	2	
		光・電子材料工学演習	2	
		磁性体応用工学演習	2	
		小 計	58	
	材料化学講座	精密反応設計特論	2	
		精密反応設計演習	2	
		精密機能化学特論	2	
		精密機能化学演習	2	
		精密分子設計化学特論	2	
		量子精密化学特論	2	
		固体反応化学特論	2	
		固体反応化学演習	2	
		光情報化学特論	2	
		光情報化学演習	2	
		環境計測化学特論	2	
		環境計測化学演習	2	
		生体材料化学特論	2	
		医用材料化学演習	2	
		生物材料機能設計特論	2	
		生物材料機能設計演習	2	
		高分子材料物性化学特論	2	

		高分子材料物性化学演習	2	
		高分子材料合成化学演習	2	
		先端無機素材特論	2	
		先端無機素材演習	2	
		小 計	42	
	各講座共通	材料科学特別セミナー	3	
	計		103	
システム工学専攻	電気情報システム講座	計算機システム特論	2	
		計算機システム演習	2	
		ソフトウェア科学特論	2	
		ソフトウェア科学演習	2	
		情報システム特論	2	
		情報システム演習	2	
		電子設計システム特論	2	
		システム LSI 特論	2	
		並列処理演習	2	
		パターン認識・理解特論	2	
		パターン認識・理解演習	2	
		知的情報処理特論	2	
		知的情報処理演習	2	
		知的ユーザインタフェース特論	2	
		無線信号処理演習	2	
		情報通信特論	2	
		画像工学演習	2	
		音響情報処理特論	2	
		情報伝送工学特論	2	
		情報伝送工学演習	2	
		制御システム特論	2	
		制御システム演習	2	
		メカトロ・ロボット応用特論	2	
		メカトロ・ロボット応用演習	2	
		エネルギー変換工学演習	2	
		小 計	50	
	設計システム講座	環境エネルギー機械特論	2	
		環境エネルギー機械演習	2	
		エネルギーシステム特論	2	

		エネルギーシステム演習	2	
		流動工学特論	2	
		流動工学演習	2	
		分子熱流体工学演習	2	
		知能機械学特論	2	
		医療福祉工学特論	2	
		計測制御演習	2	
		知能制御演習	2	
		動的システム特論	2	
		建築都市設計学特論	2	
		建築都市設計学演習	2	
		建築地域経営学特論	2	
		建築地域経営学演習	2	
		建築都市文化特論	2	
		建築都市文化演習	2	
		建築意匠・構法特論	2	
		建築都市意匠演習	2	
		建築環境設計工学特論	2	
		建築環境設計工学演習	2	
		建築設備システム工学特論	2	
		建築音響学演習	2	
		構造システム設計学特論	2	
		構造システム設計学演習	2	
		構造挙動学特論	2	
		構造挙動学演習	2	
		木質構造・構法学演習	2	
		小 計	58	
	各講座共通	システム工学特別セミナー	3	
	計		111	
各専攻共通		工学展望特論Ⅰ	1	
		工学展望特論Ⅱ	1	
		特別演習	1	
		特別実習	1	
		課程修了設計	1	
		小 計	5	
自由科目		生産管理論特論Ⅰ	2	
		生産管理論特論Ⅱ	2	

	小計	4
--	----	---

別表第3(第5条, 第11条関係)

博士前期課程の修了要件

専攻	コース	科目群						合計単位数
		専攻指定	研究科共通	国際教育科目	研究領域教育科目	創成工学教育科目	特別研究	
機械工学専攻	研究領域コース	2単位	3単位以上	2単位以上	8単位以上 (特論6単位以上) (演習2単位以上)	4単位以上	8単位	30単位以上
	創成工学コース	2単位	3単位以上	2単位以上	4単位以上	8単位以上	8単位	30単位以上
電気電子工学専攻	研究領域コース	2単位以上	2単位以上	2単位以上	12単位以上 (特論8単位以上) (演習4単位以上)	2単位以上	8単位	30単位以上
	創成工学コース	2単位以上	2単位以上	2単位以上	10単位以上 (特論6単位以上) (演習4単位以上)	6単位以上	8単位	30単位以上
分子素材工学専攻	研究領域コース	4単位以上	2単位以上	2単位以上	12単位以上 (特論6単位以上) (演習6単位以上)	2単位以上	8単位	30単位以上
	創成工学コース	4単位以上	2単位以上	2単位以上	8単位以上 (特論2単位以上) (演習6単位以上)	6単位以上	8単位	30単位以上
建築学専攻	研究領域コース	2単位以上	2単位以上	2単位以上	10単位以上 (特論6単	1単位以上	8単位	30単位以上

					位以上) (演習 4 単位以上)			
	創成工学 コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	10 単位以上 (特論 6 単位以上) (演習 4 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
情報工学 専攻	研究領域 コース	6 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	2 単位以上	2 単位以上	8 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学 コース	6 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	1 単位以上	2 単位以上	4 単位以上 (特論 2 単位以上) (演習 2 単位以上)	5 単位以上	8 単位	30 単位以上
物理工学 専攻	研究領域 コース	3 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	12 単位以上 (特論 8 単位以上) (演習 4 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学 コース	3 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	6 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	8 単位以上	8 単位	30 単位以上

別表第 4(第 5 条, 第 11 条関係)

博士前期課程社会人学生の修了要件

専攻	コース	科目群						合計単位 数
		専攻指定	研究科 共通	国際教 育科目	研究領域 教育科目	創成工学 教育科目	特別 研究	
機械工学 専攻	研究領域 コース	4 単位以上			4 単位以上	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学 コース	4 単位以上			2 単位以上	2 単位以上	8 単位	30 単位以上

電気電子工学専攻	研究領域コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	12 単位以上 (特論 8 単位以上) (演習 4 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	10 単位以上 (特論 6 単位以上) (演習 4 単位以上)	6 単位以上	8 単位	30 単位以上
分子素材工学専攻	研究領域コース	6 単位以上			10 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 6 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学コース	6 単位以上			8 単位以上 (特論 2 単位以上) (演習 6 単位以上)	4 単位以上	8 単位	30 単位以上
建築学専攻	研究領域コース	2 単位以上	2 単位以上	—	10 単位以上 (特論 6 単位以上) (演習 4 単位以上)	1 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学コース	2 単位以上	2 単位以上	—	10 単位以上 (特論 6 単位以上) (演習 4 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
情報工学専攻	研究領域コース	6 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	2 単位以上	2 単位以上	8 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学	6 単位以上	1 単位	2 単位	4 単位以上	5 単位以上	8 単位	30 単位以上

	コース	(特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	以上	以上	(特論 2 単位以上) (演習 2 単位以上)	上	位	位以上
物理工学専攻	研究領域コース	3 単位以上	4 単位以上		12 単位以上 (特論 8 単位以上) (演習 4 単位以上)	2 単位以上	8 単位	30 単位以上
	創成工学コース	3 単位以上	4 単位以上		6 単位以上 (特論 4 単位以上) (演習 2 単位以上)	8 単位以上	8 単位	30 単位以上

別表第 5(第 5 条, 第 11 条, 第 12 条関係)

博士後期課程の修了要件

専攻 \ 区分	当該専攻の特論	当該専攻の演習	特別セミナー	各専攻共通	合 計
材料科学専攻	4 単位以上	2 単位以上	3 単位	1 単位	10 単位以上
システム工学専攻	4 単位以上	2 単位以上	3 単位	1 単位	10 単位以上

(注)

- 1 特論 2 単位及び演習 2 単位, 合計 4 単位については, 他専攻, 他研究科, 他大学院での修得単位を認める。
- 2 当該専攻の特論の単位には, 「工学展望特論Ⅰ」及び「工学展望特論Ⅱ」の単位を含む(社会人学生対象)。

別表第 6(第 14 条関係)

特別の課程の授業科目及び時間数

特別の課程の名称	授業科目	時間数 (単位数)	備考
さきもり応用コース	防災実践基礎特論	18 (1)	
	防災実践基礎演習	36 (1)	

	防災実践応用特論	18 (1)	
	防災実践応用演習	36 (1)	
	さきもり特別研究	90 (2)	
	計	198 (6)	

本表中(単位数)とあるのは、学生及び科目等履修生が受講する場合に適用する。

別表第7(第5条, 第11条関係)

5年一貫コースの修了要件

5 年一貫コース												合計
博士前期課程(修士)科目群 (研究領域コース)							博士後期課程(博士)科目群					
専攻	専攻指定	研究科共通	国際教育科目	研究領域教育科目	創成工学教育科目	特別研究	専攻	当該専攻の特論	当該専攻の演習	特別セミナー	各専攻共通	
機械工学	2 単位	3 単位以上	2 単位以上	8 単位以上 特論 6 単位以上 演習 2 単位以上	4 単位以上	8 単位	材料科学・システム工学	4 単位以上	2 単位以上	3 単位以上	1 単位以上	40 単位以上
電気電子工学	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	12 単位以上 特論 8 単位以上 演習 4 単位以上	2 単位以上	8 単位						40 単位以上
分子素材工学	4 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	12 単位以上 特論 6	2 単位以上	8 単位						40 単位以上

				単位以上 演習 6 単位以上								
建築学	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	10 単位以上 特論 6 単位以上 演習 4 単位以上	1 単位以上	8 単位						40 単位以上
情報工学	6 単位以上 特論 4 単位以上 演習 2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	8 単位以上 特論 4 単位以上 演習 2 単位以上	2 単位以上	8 単位						40 単位以上
物理工学	3 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	12 単位以上 特論 8 単位以上 演習 4 単位以上	2 単位以上	8 単位						40 単位以上

①授業科目の履修選択する際は、指導教員の指導を受けること。

②やむを得ない事情により、5 年一貫コースより博士前期課程にコース替えする場合は、博士前期課程の修了要件を満たす必要があるので十分留意すること。ただし、コース替えをする場合は、5 年一貫コースの 3 年次終了時までには指導教員に申し出ること。